

# 2023年度 環境経営レポート

(活動期間 2023年4月1日～2024年3月31日)



®環境省

エコアクション21  
認証番号0005773

2024年7月1日  
株式会社 浦和電子  
EA21推進委員会

# 目次

1. 環境経営方針
2. 事業の概要
3. 2023年度実施体制
4. 2023年度環境経営目標（中長期目標）
5. 2023年度環境経営計画と結果/次年度の計画
6. 2023年度環境経営目標結果および評価
7. 環境関連法規制の遵守状況
8. 2024年度環境経営目標（中長期目標）
9. 代表による全体評価と見直し



# 1. 環境経営方針

1. 環境マネジメントシステムを構築し、展開し、実施して継続的に改善します。
2. 環境に関連する法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
3. 地球温暖化防止のため、電力等のエネルギーの節約を行います。
4. 資源の有効活用として、廃棄物の削減と再資源化を推進します。
5. 水資源の有効利用のため、節水に取り組みます。
6. この環境経営方針達成のため、環境経営方針に基づく環境経営目標・計画をたて定期的に更新します。
7. グリーン調達に取り組み、化学物質などによる環境負荷の低減と汚染の防止に努めます。

この環境経営方針を全ての従業員に周知します。

制定日：2009年4月2日

改定日：2023年7月1日

株式会社 浦和電子

代表取締役社長 葛西 剛

## 2. 事業の概要

- 事業所名 : 株式会社 浦和電子
- 代表者名 : 葛西 剛
- 所在地 : 〒336-0032 埼玉県さいたま市南区四谷3丁目11番4号  
TEL:048-863-7641 FAX:048-863-4366  
URL:<http://www.urawa-d.co.jp>
- 環境管理責任者 : 加藤 優一 e-mail:[y.katou@urawa-d.co.jp](mailto:y.katou@urawa-d.co.jp)
- 事業内容 : 産業用電子制御機器等の設計・製造
- 事業規模 : 2023年度 売上実績851百万円(2023年4月~2024年3月)  
総従業員数 43名(2023年4月) 総床面積 990㎡
- 登録対象範囲 : 株式会社 浦和電子 本社・工場
- 認証・登録番号 : 0005773
- 認証・登録日 : 2010年9月16日
- 更新・登録日 : 2022年9月16日
- 有効期限 : 2024年9月15日
- 認証・登録機関 : 一般財団法人 持続性推進機構(IPSuS)

# 3. 2023年度実施体制

## 環境経営システム組織図



登録対象 (株)浦和電子 本社・工場 産業用電子機器等の設計・製造

職務	役割
最高環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針を定め、また必要に応じ見直しを行う</li> <li>EMSの実行に必要な資源(人員・設備・資金)を準備する</li> <li>環境管理責任者を任命する</li> <li>EMSの全体的な取組み状況を評価し、適時見直し指示を行う</li> <li>重大、重要事態発生時、是正・予防指示をする</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>EMSを構築、運用し、維持する責任と権限を有する</li> <li>最高環境管理責任者を補佐する</li> <li>EA推進委員を任命する</li> <li>EMSの全体的な取組み状況を監視し、適時改善の指示を行う</li> <li>環境経営計画の承認を行う</li> <li>環境関係法令の遵守状況の確認</li> <li>苦情等の受付、外部コミュニケーション受付、及び回答書の承認を行う</li> <li>緊急事態への対応を行う</li> <li>環境経営目標の作成、承認を行う</li> <li>各手順書の承認を行う</li> </ul>
EA運営事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>「EMS」等の文書、作成・記録を維持管理する</li> <li>環境経営活動レポートの作成</li> <li>環境経営計画の作成</li> <li>環境関係法令等を調査し一覧表を作成し、最新状態を維持する</li> </ul>
EA推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令等の外部文書の維持管理する</li> <li>環境に関する行政機関等の対応</li> <li>EA推進委員会を開催する</li> <li>環境経営活動結果の取りまとめ</li> <li>各手順書を作成する</li> </ul>
EA推進委員会 必要に応じて 開催する	<ul style="list-style-type: none"> <li>最高環境管理責任者、環境管理責任者、EA21推進委員、EA運営事務局で構成する</li> <li>環境経営方針にそって環境活動計画を作成する</li> <li>環境経営計画の具体的な取組み内容を実践し推進する</li> <li>環境経営計画の実施状況を確認、問題点の提起と解決策の検討</li> <li>各部門の環境教育を推進</li> <li>EMSの構築・運用に関する情報を最高責任者に提出する</li> <li>環境経営計画実行・環境教育を各部署に指導する</li> <li>環境経営計画の推進管理、報告</li> <li>必要なデータを集計する</li> </ul>
各部、 一般従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営計画に沿って、計画を実施遂行する</li> </ul>

# 4. 2023年度環境経営目標（中長期目標）

No.	活動方針	単位	基準値 売上百万円に対する 排出量及び使用量	目標値				
				2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
1	電力使用量の削減	kWh/M¥	129.8 (2020年度実績)	128.5 (-1%)	127.2 (-2%)	125.9 (-3%)	124.6 (-4%)	123.3 (-5%)
2	化石燃料使用量の削減	L/M¥	19.0 (2020年度実績)	18.8 (-1%)	18.6 (-2%)	18.4 (-3%)	18.2 (-4%)	18.0 (-5%)
3	廃棄物排出量の削減	kg/M¥	3.26 (2020年度実績)	3.22 (-1%)	3.19 (-2%)	3.16 (-3%)	3.13 (-4%)	3.09 (-5%)
4	コピー用紙購入量の削減	/		裏面使用及び両面印刷の推進				
5	水使用量の削減			節水の励行、水量計チェック				
6	環境配慮製品の取組み			簡易梱包化、発泡スチロールの削減、環境配慮製品の提案				
7	グリーン調達			エコ車両の導入(車両入替え時)、化学物質の管理				
8	5Sの徹底			各職場毎に 整理・整頓・清掃・清潔・躰 を徹底する				
9	教育訓練等			防災教育および防災訓練 他				

※ 目標値欄の(-\*)は基準値に対する増減率

※ No.5~No.8は目標値の設定はせず、取組み方向を示す

※ 2020年度実績の売上百万円(626百万円)に対する値を基準とする

※ 2023年度より電力CO<sub>2</sub>排出係数を「0.441」とする(東京電力エナジーパートナー(株)2020年度調整後の排出係数)

※ 化石燃料使用量はLPGを含む。LPG消費量(kg)×1.892(ℓ換算の係数)で計算

# 5. 2023年度環境経営計画と結果/次年度の計画

○・・・達成 ×・・・未達成

活動項目	活動内容	結果	次年度の計画
電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不要照明・電源の消灯</li> <li>・照明器具の配置や省電力化の検討</li> <li>・冷暖房温度・換気時間管理</li> <li>・空調機フィルター清掃 4回/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> <li>・継続</li> <li>・継続</li> <li>・継続</li> </ul>
化石燃料使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイヤ空気圧管理(給油時に点検)</li> <li>・エンジンオイルの点検(半年点検ごと)</li> <li>・エコドライブ教育の実施</li> <li>・ガス給湯器のエコ使用の励行</li> <li>・運行ルートの見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> <li>・継続</li> <li>・継続</li> <li>・継続</li> <li>・継続</li> </ul>
廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別廃棄の徹底</li> <li>・個人ゴミの持ち帰りの励行</li> <li>・リサイクルへの転換検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> <li>・継続</li> <li>・継続</li> </ul>
コピー用紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏面使用および両面印刷の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漏水チェック</li> <li>・節水の励行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> <li>・継続</li> </ul>
環境配慮製品の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易梱包化</li> <li>・発泡スチロール削減</li> <li>・環境配慮製品の提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> <li>・継続</li> <li>・継続</li> </ul>
グリーン調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ車両の導入(車両入替え時)</li> <li>・化学物質の管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>×</li> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両の入替を検討する</li> <li>・継続</li> </ul>
5Sの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各職場毎に 整理・整頓・清掃・清潔・躰 を徹底する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> </ul>
教育訓練等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育と防災訓練の実施</li> <li>・安全衛生パトロールの実施</li> <li>・荷揚げ機の使用(安全・衛生の為)</li> <li>・改善提案提出の制度化(品質向上を目的として)</li> <li>・環境関連法規最新版・遵法性チェック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> <li>・継続</li> <li>・継続</li> <li>・継続</li> <li>・継続</li> </ul>

# 6. 2023年度環境経営目標結果および評価

環境経営目標	単位	目標値	実績値	削減率	達成/未達成
電力使用量削減	kWh/M¥	128.5	85.7	-33.3%	達成!
化石燃料使用量削減	L/M¥	18.8	10.4	-44.6%	達成!
廃棄物排出量削減	kg/M¥	3.22	6.49	+102.3%	未達成…
活動方針	単位	前年度	今年度	前年度比	
コピー用紙購入量の削減	Kg	378.35	416.40	前年度より削減率UP	
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	471	438	前年度より削減率UP	
環境配慮製品の取組み	件	0	0	変化なし	
グリーン調達	件	2	0	増加なし	
教育訓練等	回	月1	月1	変化なし	

※化石燃料使用量はLPGを含む。LPG消費量(kg)×1.892(Q換算の係数)で計算。

※コピー用紙、水、環境配慮製品、グリーン調達、教育訓練等は数値目標を設定していない為、評価しない。

# 7. 環境関連法規制の遵守状況

○:遵守されている ×:遵守されていない

法規名		遵守事項(規制内容)	条項	実施状況	判定
NOx・PM法		ディーゼル車は車検を受けているか	法12条	車検証あり	○
悪臭防止法 市生活環境保全条例		敷地境界での臭気は基準値以内か	法7条 条38条	体感にて異臭無し 近隣から苦情無し	○
廃棄物 処理法	契約書	最終処分場所が明記されているか 許可品目と委託廃棄物が合致するか	法12条	契約書に明記確認 合致している	○
	保管場所	飛散、流出防止対策をとっているか 廃棄物の種類等を表示しているか	法12条の3	廃棄物置き場設置 表示している	○
	マニフェスト	マニフェストで最終処分を確認しているか 管理表交付等状況報告書の提出	法12条の3	確認済み 提出している	○
	適正廃棄	水銀利用製品の適正廃棄処理	法12条	対象物を廃棄していない	○
自動車リサイクル法		自動車リサイクル券の有無	法8条	リサイクル券有	○
家電リサイクル法		家電リサイクル券を購入する	法6条	対象物を廃棄していない	○
小型家電リサイクル法		廃棄時認定事業者に引き渡す	法7条	対象物を廃棄していない	○
フロン排出抑制法		業務用エアコンの廃棄時に専門業者に引き渡す	法19条	対象物を廃棄していない	○
		3ヶ月に1回以上の頻度で簡易点検しているか	法16条	点検している	○
騒音規制法		敷地境界での騒音基準値以内か	法5条	基準以内、近隣から苦情無	○
振動規制法		敷地境界での振動基準値以内か	法5条	基準以内、近隣から苦情無	○
消防法		灯油保管量	法9条の4	180リットル以下	○
さいたま市火災予防条例		指定数量未満の危険物の適正貯蔵・取扱	条40条	基準を満たしている	○
県生活環境保全条例		自動車はPM規制に適合しているか	条31条	ディーゼル車のみ適合済み	○
市生活環境保全条例		アイドリングストップの実施	条32条	実施済み	○

※ 環境関連法規等の遵守状況の確認の結果、違反はありませんでした。  
 ※ 設立以来過去1度も、関連機関からの違反等の指摘はありませんでした。

最新法規制及び遵守状況確認日:  
 2023/05/31 加藤

# 9. 2024年度環境経営目標（中長期目標）

No.	活動方針	単位	基準値 売上百万円に対する 排出量及び使用量	目標値				
				2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
1	電力使用量の削減	kWh/M¥	129.8 (2020年度実績)	128.5 (-1%)	127.2 (-2%)	125.9 (-3%)	124.6 (-4%)	123.3 (-5%)
2	化石燃料使用量の削減	L/M¥	19.0 (2020年度実績)	18.8 (-1%)	18.6 (-2%)	18.4 (-3%)	18.2 (-4%)	18.0 (-5%)
3	廃棄物排出量の削減	kg/M¥	3.26 (2020年度実績)	3.22 (-1%)	3.19 (-2%)	3.16 (-3%)	3.13 (-4%)	3.09 (-5%)
4	コピー用紙購入量の削減	/		裏面使用及び両面印刷の推進				
5	水使用量の削減			節水の励行、水量計チェック				
6	環境配慮製品の取組み			簡易梱包化、発泡スチロールの削減、環境配慮製品の提案				
7	グリーン調達			エコ車両の導入(車両入替え時)、化学物質の管理				
8	5Sの徹底			各職場毎に 整理・整頓・清掃・清潔・躰 を徹底する				
9	教育訓練等			防災教育および防災訓練 他				

※ 目標値欄の(-\*)は基準値に対する増減率

※ No.5~No.8は目標値の設定はせず、取組み方向を示す

※ 2020年度実績の売上百万円(626百万円)に対する値を基準とする

※ 2023年度より電力CO<sub>2</sub>排出係数を「0.441」とする(東京電力エナジーパートナー(株)2020年度調整後の排出係数)

※ 化石燃料使用量はLPGを含む。LPG消費量(kg)×1.892(ℓ換算の係数)で計算

# 9. 代表による全体評価と見直し

53期ご苦労様です。

廃棄物排出量削減では、目標達成はできませんでした。ケーブル被覆の削減をするのが一番いいですが、仕事上難しいのとリサイクル業者がないのが現状。

しかし、支給ケーブルに関しては客先へ引取ってもらうなどの相談をして見るのも手かと。

電力に関しても昨今の異常気象でエアコンは必要なので省エネのエアコンに買い替えるのも視野に入れたい。

株式会社 浦和電子  
代表取締役社長  
葛西 剛

